

東 芝 真 空 管

6G-B8 Hi-Fi用

電力増幅用ビーム管

6G-B8 Hi-Fi は大ホールならびに営業用高級再生装置に適するようにとくに設計された大形オクタールベースの電力増幅用ビーム管であります。低雑音の6AN8 Hi-Fi、12AX7 A Hi-Fiなどと併用していただきますと高忠実度大出力の優れたHi-Fi用再生装置を製作することができます。

6G-B8 Hi-Fi用の特長

(1) 出力が大きい

電力増幅管としては驚異的な大出力が得られます。出力は6BQ5の約10倍、7591の約3倍、6L6GC、6CA7、KT-88よりもさらに大きい、130 Wの大出力が3.2 %のひずみで得られます。

(2) 入力信号電圧が小さく高利得である

相互コンダクタンスは非常に高く、したがって小さな入力信号電圧で大出力が得られ高利得であります。

(3) ひずみが少ない

大出力においてもひずみが少ないように考慮が払われておりますので、入力信号電圧が小さくてよいため前段でのひずみが軽減されることとあいまって、高級Hi-Fi用出力管として好適であります。ことに、大出力であることは余裕のある使い方ができるためひずみを軽減させるのに一層有利であります。

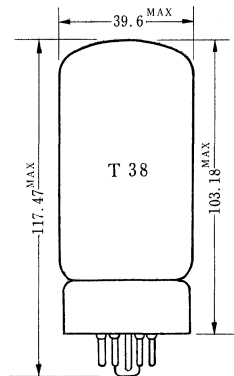
(4) プッシュプル用としてのベアチューブ

大出力が得たい場合や、ひずみを軽減したい場合には、プッシュプル回路の採用をおすすめします。この場合、特性の揃ったものを用いることが大切ですので、特にこのために考慮されたベア・チューブをご使用になることをおすすめいたします。

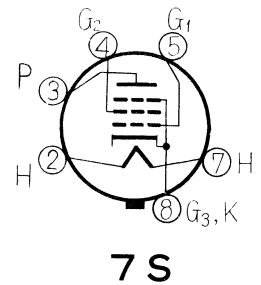
御使用上の注意

6G-B8 Hi-Fiは 出力が大きいため、ガラスバルブ、ベースは非常に熱くなりますので通風および部品配置には充分御注意下さい。

外 形



ベース接続



カソード 傍熱形
ヒータ電圧 6.3V
ヒータ電流 1.5A
バルブ T-38
ベース 6G-B8用オクタール
外形 38-14

最大定格 (設計中心値)

プレート電圧……………	最大	800 V
第2グリッド電圧……………	最大	440 V
第1グリッド負電圧……………	最大	100 V
プレート損失……………	最大	35 W
第2グリッド損失……………	最大	10 W
カソード電流……………	最大	200 mA
ヒータ・カソード間電圧		
ヒータ 正……………	最大	100 V
ヒータ 負……………	最大	100 V
第1グリッド回路抵抗		
固定バイアスのとき……………	最大	0.5 MΩ
カソードバイアスのとき……………	最大	0.7 MΩ

動作例および特性

シングルA₁ 級増幅用

プレート電圧……………	250 V
第2グリッド電圧……………	250 V
第1グリッド電圧……………	-8 V
カソード抵抗(カソードバイアスのとき)……………	57Ω
相互コンダクタンス (概略値)……………	20 mΩ
プレート内部抵抗 (概略値)……………	15 KΩ
増幅率 (3極管接続) (概略値)……………	15
負荷抵抗……………	1,600Ω
第1グリッド入力信号電圧(実効値) 0 3.2 4.65 5.6 V	
プレート電流……………	140 145 149 151 mA
第2グリッド入力倍……………	12 16 21.5 28 mA
出力……………	— 6 12 15 W
ひずみ率(全高調波ひずみ)……………	— 5.8 8.1 9.5 %

プッシュプルA_{B1} 級増幅用

プレート供給電圧……………	320 V
第2グリッド供給電圧……………	320 V
カソード抵抗 (共通)……………	60Ω
負荷抵抗 (両プレート間)……………	2500 Ω
第1グリッド入力信号電圧(実効値) 0 5 8.2 11 V	
プレート電流 (2球の値)……………	214 220 230 242 mA
第2グリッド電流 (2球の値)……………	16 22 33 50 mA
出力……………	— 15 30 40 W
ひずみ率(全高調波ひずみ)……………	— 1.2 2.9 5 %

プッシュプルA_{B1} 級増幅用 (固定バイアス動作)

プレート電圧……………	300 400 500 600 700 V
第2グリッド電圧……………	300 300 310 320 320 V
第1グリッド電圧……………	-16.5 -17 -18 -19 -20 V
第1グリッド入力信号電圧……………	11.5 11.9 12.6 13.3 14 V

(実効値)

零信号プレート電流 (2球)……………	120 110 110 110 90 mA
最大信号プレート電流 (2球)……………	250 255 265 285 275 mA
零信号第2グリッド電流 (2球)……………	7 6 4 4 2 mA
最大信号第2グリッド電流 (2球)……………	51 40 45 46 42 mA
負荷抵抗……………	2500 3500 4500 5000 6000 Ω
出力……………	40 60 80 110 130 W
ひずみ率(全高調波ひずみ)……………	5 4.2 3.6 3.6 3.2 %

3極管接続シングルA₁ 級増幅用

(第2グリッドをプレートに結ぶ)

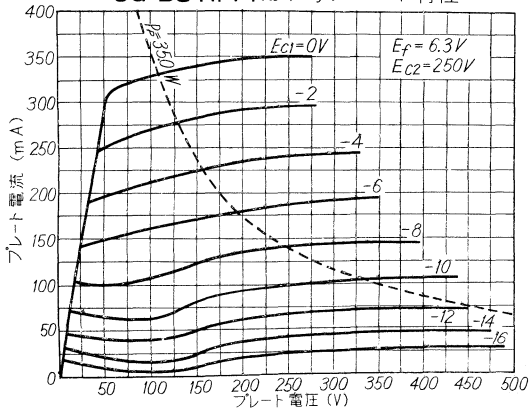
プレート供給電圧……………	350 V…
カソード抵抗……………	160Ω
負荷抵抗……………	2,000Ω
グリッド入力信号電圧(実効値)……………	0 9.2 12.2 V
プレート電流……………	103 — 109 mA
出力……………	— 4.5 7.5 W
ひずみ率(全高調波ひずみ)……………	— 5.7 8.0 %

3極管接続プッシュプルA_{B1} 級増幅用

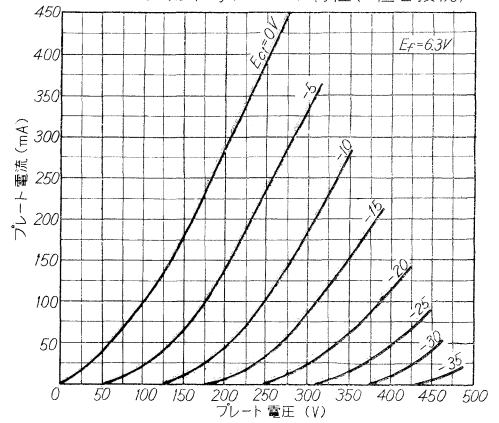
プレート供給電圧……………	380 V
カソード抵抗……………	100Ω
負荷抵抗 (両プレート間)……………	3,500Ω
グリッド入力信号電圧(実効値)……………	0 10.4 14.3 V
プレート電流 (2球の値)……………	188 — 204 mA
出力……………	— 10 18.5 W
ひずみ率(全高調波ひずみ)……………	— 1 2.5 %

東京芝浦電気株式会社 東芝商事株式会社

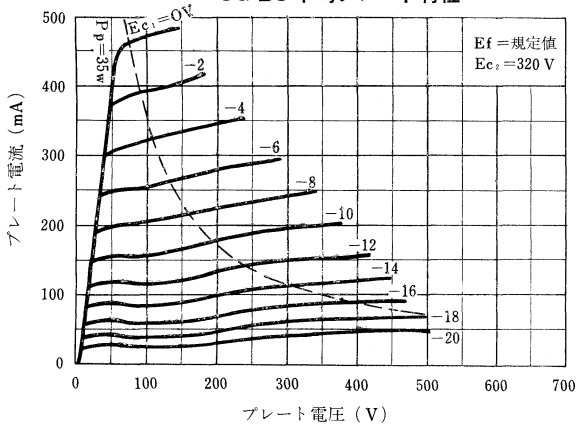
6G-B8 Hi-Fi用平均プレート特性



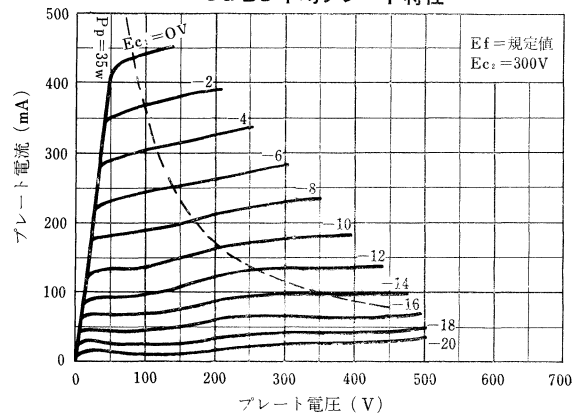
6G-B8 Hi-Fi用平均プレート特性(3極管接続)



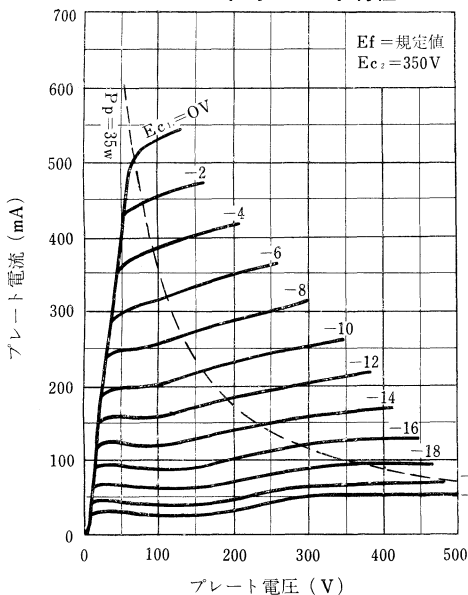
6G-B8 平均プレート特性



6G-B8 平均プレート特性



6G-B8 平均プレート特性



回路例

